

団体名：木城町農村女性指導士協議会

代表者：工藤 久美子

所在地：宮崎県児湯郡木城町

〔ポイント〕

平成9年女性農業者の活動を通して地域農業の活性化を図ることを目的として、木城町に5名で農村女性指導士会が発足。農業者の高齢化や担い手不足等から諸問題が発生する中で、農村女性指導士として休耕田を活用した景観づくり等を実施するなど、地域農業の活性化に向けた活動を模索しながら活動を展開。

平成10年、子供達を対象とした加工調理実習で、子供達が地域農業の理解を促進し、地域と地域食材への愛着を深めてもらうための地産地産・食育活動を展開。

学校給食への食材提供、直売所での販売や消費者への情報提供、交流活動、イベントの企画・運営等と発展。

【活動内容】

1. 学校給食への地元農産物提供を、JA青年部と一緒に取組を開始。
最初は、取組可能な米や野菜等から始め、次第に品目数を拡大。また、併設する温泉施設内レストランにも農産物の供給。
2. 生産者の立場から消費者への各種情報の発信にいち早く取組む。これらの取組は、他の出荷者へも広がり、各々が消費者を意識して、工夫し、楽しみながら独自の生産方法やレシピ等の情報を提供するようになり、「生産者の顔の見える」直売所として、年々、出荷者や利用客が増え、売上も伸びてきた。
3. 地元農産物の理解と利用拡大を図るため、手軽にできるレシピを考案しようと試作・研究を重ね、平成18年の作成開始からこれまでで計5冊を刊行している。
また、平成19年からは、若い母親を対象に、地域に伝わる郷土料理や地元食材を利用した料理教室を開催。
4. 平成10年から、地元の子供達を対象とした食育活動を展開しており、自分達の圃場等を利用して野菜の作付けから収穫体験等を実施し、現在では多くの方が参加している。さらに、地元の農業高校と連携して実施する農業体験は、地域の方々に農業の魅力を理解してもらうとともに農業高校のPRを行うよい機会となり、農業高校への進学希望者が増大するなど、次世代を担う農業後継者の育成にもつながっている。
5. 町内では畜産も盛んなことから、耕畜連携による堆肥の有効活用や減農薬・減化学肥料栽培に向けた取組を行っている。
6. 自治体等との協力体制や持続性では、「木城町農業活性化推進協議会」の一組織として認定農業者協議会等と連携、協力できる体制が整い、行政も活動の支援を行いながら、取組の定着化を図っている。
また、メンバーのパートナーも認定農業者のリーダーとして、地域農業の活性化に積極的に関わるとともに、家族経営協定を締結し、お互いの役割等を明確にしながら、相互の活動を理解・支援できる体制が家庭の中において整っている。